

たきざわ のうちほぜん くみあい

滝沢農地保全組合（池田町）

・組織の活動面積	A=	51.55	ha
・組織の構成員数	約	123	人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 □	向上活動 ■
取組開始年度	平成19年～	—	平成24年～

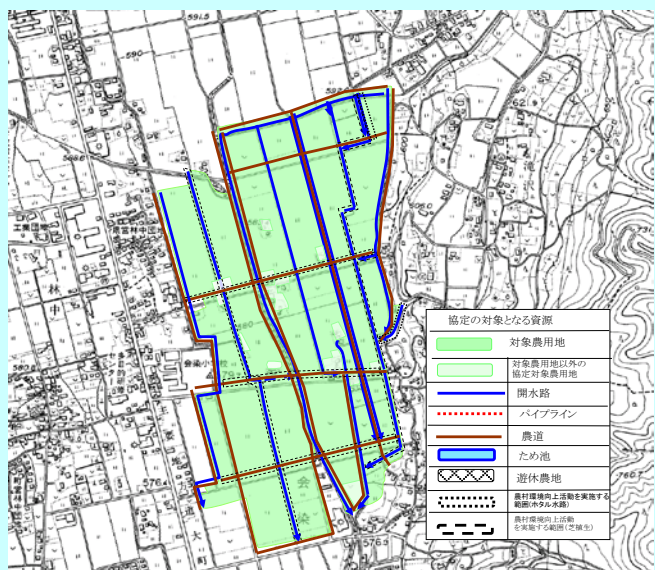
構成員	滝沢自治会、ホタルを育て楽しむ会、滝沢南部営農組合、池田町土地改良区、花いっぱい推進委員会
-----	---

組織の概要

本地区は、古くから「オテンマ」と称して、地域の人たちが一体となって道路整備や水路の泥上げなど、地域の環境を自らの手で整備してきた町のモデル的な地区であります。強固な地域力の背景には、「子供の純粋な心を引き継ぎ、そのまま大人になった人達が多いのでは。」との活動者の言葉。平成17年度には、地元有志が「ホタルを育て楽しむ会」を発足させたところです。

地域が一体となって「水環境」を軸に、地域環境を整備していきたい。

『共同で水生物の復活』～自然繁殖の願い カワニナ放流～



地域で守る生態系

長野県北安曇郡池田町 滝沢農地保全組合
取組面積51.6ha(田51.6、畑0)

ホタルの復活を願い ～自然茶種願い カワニナ放流～

本地区の活動では、源氏ホタルの復活を願い、用排水路の泥上げや法面へのカバープラントの設置(植栽)を行い、水生物が棲める環境を整えました。また、餌となるカワニナを繁殖させるための放流も併せて子供たちと一緒にいったところ。特に、源氏ホタルの繁殖は、上流域でも取組みが行われており、今後、地域が1つとなって「水環境」を軸に、地域環境を保全拡大していきたいと考えています。

ゲンジボタルのえさとなるカワニナ

多くたちが住める環境を作ってね。

ホタルの餌となるカワニナを、繁殖させる水路に投入

